

平成30年度 学校評価アンケート結果

柏市立富勢小学校

校長 鈴木 成 幸

本年度の学校評価アンケートをとりまとめました。本評価は保護者アンケート、児童アンケート、教職員アンケートをまとめたものです。アンケート結果を受け、本校の教育を改善してさらに良い学校になるよう努めます。

1 保護者アンケート（506名⇒530名）

No.	評価項目	平成29年度 平均値（4点満点）	平成30年度 平均値（4点満点）
1	学校教育目標実現への努力	3.18	3.18
2	清潔感・安全に配慮した環境	<u>2.82</u>	<u>2.72</u>
3	情報開示（HP、スクールメール等）	3.23	3.21
4	保護者対応	3.21	3.24
5	教育相談	3.13	3.14
6	授業が分かりやすい	3.18	3.28
7	我が子の基本的な生活習慣	3.01	<u>2.99</u>
8	我が子の挨拶	<u>2.92</u>	<u>2.91</u>
9	我が子の学習内容理解	3.01	<u>2.97</u>
10	我が子の家庭学習習慣	<u>2.75</u>	<u>2.68</u>
11	我が子の読書習慣	<u>2.41</u>	<u>2.41</u>
12	我が子は学校へ行くのが楽しみ	3.41	3.35
13	地域行事への参加	3.03	3.06
14	教育活動に満足している	3.04	3.07
	平均値	3.03	3.01

▲改善が必要な項目（3.00未満）

No. 2 清潔感・安全に配慮した環境

No. 7 我が子の基本的な生活習慣

No. 8 我が子のあいさつ

No. 9 我が子の学習内容理解

No.10 我が子の家庭学習習慣

No.11 我が子の読書習慣

2 (1) 児童アンケート (1, 2年生 239名⇒189名)

No.	評価項目	平成29年度 平均値 (4点満点)	平成30年度 平均値 (4点満点)
1	進んで挨拶ができている	3.54	3.51
2	むだ話をしないで掃除ができている	3.06	<u>2.91</u>
3	廊下は走らず右側歩行している	3.09	3.16
4	授業が分かりやすい	3.43	3.45
5	進んで発表をしている	3.05	<u>2.94</u>
6	進んで読書をしている	3.30	3.25
7	家庭学習をしている	3.32	3.42
8	規則正しい生活をしている	3.16	3.18
9	ゲーム等の使い方を決めている	3.39	3.35
10	給食は残さずに食べている	3.31	3.30
11	外で元気に遊んでいる	3.41	3.38
12	交通ルールを守っている	3.69	3.71
13	けんかをしてでも仲直りしている	3.28	3.30
14	困っている人を助けている	3.51	3.48
15	丁寧な言葉遣いができている	3.31	3.31
16	係の仕事を進んで行っている	3.67	3.70
17	学校は楽しい	3.69	3.61
	平均値	3.37	3.35

▲改善が必要な項目 (3.00 未満)

No. 2 むだ話をしないで掃除ができている

No. 5 進んで発表をしている

2 (2) 児童アンケート (3～6年生 456名⇒436名)

No.	評価項目	平成29年度 平均値 (4点満点)	平成30年度 平均値 (4点満点)
1	進んで挨拶ができている	3.26	3.21
2	むだ話をしないで掃除ができている	<u>2.69</u>	<u>2.61</u>
3	廊下は走らず右側歩行している	<u>2.79</u>	<u>2.69</u>
4	授業が分かりやすい	3.34	3.30
5	進んで発表をしている	<u>2.52</u>	<u>2.59</u>
6	進んで読書をしている	<u>2.88</u>	<u>2.73</u>
7	家庭学習をしている	3.21	3.04
8	規則正しい生活をしている	<u>2.95</u>	<u>2.95</u>
9	ゲーム等の使い方を決めている	3.08	3.13
10	給食は残さずに食べている	3.50	3.55
11	外で元気に遊んでいる	<u>2.90</u>	<u>2.86</u>
12	交通ルールを守っている	3.45	3.49
13	自助の気持ちを持って過ごしている	3.54	3.48
14	けんかをしても仲直りしている	3.19	3.15
15	困っている人を助けている	3.13	3.10
16	丁寧な言葉遣いができている	3.20	3.17
17	係の仕事を進んで行っている	3.52	3.45
18	学校は楽しい	3.45	3.44
	平均値	3.15	3.11

▲改善が必要な項目 (3.00 未満)

- No. 2 むだ話をしないで掃除ができている
- No. 3 廊下は走らず右側歩行している
- No. 5 進んで発表をしている
- No. 6 進んで読書をしている
- No. 8 規則正しい生活をしている
- No.11 外で元気に遊んでいる

3 教職員アンケート（33名）

No.	評価項目	平成29年度 平均値（4点満点）	平成30年度 平均値（4点満点）
1	学校教育目標実現への努力	3.55	3.27
2	清潔感・安全に配慮した環境	<u>2.83</u>	<u>2.64</u>
3	情報開示（HP，スクールメール等）	3.59	3.39
4	保護者対応	3.63	3.42
5	教育相談	3.67	3.45
6	分かりやすい授業への取組	3.34	<u>2.97</u>
7	児童の基本的な生活習慣	<u>2.55</u>	<u>2.61</u>
8	児童の挨拶への取組状況	<u>2.29</u>	<u>2.42</u>
9	児童の掃除への取組状況	<u>2.79</u>	<u>2.85</u>
10	児童の右側歩行への取組状況	<u>2.24</u>	<u>2.30</u>
11	児童の家庭学習習慣	<u>2.79</u>	<u>2.52</u>
12	児童の読書習慣	<u>2.55</u>	<u>2.58</u>
13	児童は楽しい学校生活を送っている	3.31	3.24
14	職場環境（学年間連携）	3.38	3.06
15	職場環境（若年・ベテラン連携）	3.13	<u>2.97</u>
16	職場環境（相談しやすい）	3.46	3.27
	平均値	3.01	2.97

▲改善が必要な項目（3.00未満）

- No. 2 清潔感・安全に配慮した環境 No. 6 分かりやすい授業の取組
 No. 7 児童の基本的な生活習慣 No. 8 児童の挨拶への取組状況
 No. 9 児童の掃除への取組状況 No.10 児童の右側歩行への取組状況
 No.11 児童の家庭学習習慣 No.12 児童の読書習慣
 No.15 職場環境（若年・ベテラン連携）

	改善が必要な項目 (3.00未満)	1	2	3	4	6	7	8	9
		環境	挨拶	家庭学習	読書習慣	右側歩行	発表	生活習慣	外遊び
1	保護者	▲	▲	▲	▲			▲	
2	児童(1, 2年生)		○	○	○	○	▲	○	○
3	児童(3~6年生)		▲	○	▲	▲	▲	▲	▲
5	教職員	▲	▲	▲	▲	▲		▲	

4 課題と改善策

- 環境→清掃活動を充実させていくとともに、柏市教育委員会学校施設課へ相談及び要望書の提出を行い、校舎等の修繕を進めていきます。現在、学校では集中して清掃を行えるよう、無言清掃に取り組んでいます。今後、第一校舎東側（体育館側）のトイレの改修も計画されています。
- 挨拶→朝礼等で、学校長も繰り返し、子供たちへ話をしていきますが、笑顔で周りの人を気持ちよくさせる挨拶を一人一人ができるように、心を育てていきます。
- 家庭学習→「これまでの全国学力・学習状況調査（小6国語・算数）における国の分析結果では、『家庭学習をしている児童ほど国語，算数とも正答率が高い傾向がある』とされています。本県の分析でも、同様の傾向がみられます。家庭と学校とが『家庭学習を大切にする』という同じ視点に立って子供たちを支えていくことで，学習習慣の確立が促され，学力向上につながると考えます（家庭学習の効果 国・千葉県による分析より）。」学校で学んだことを家で復習することを習慣化する等，来年度も子供たちにあった家庭学習を計画いたします。
- 読書習慣→高学年になるにつれて，遠ざかってしまう傾向が見られます。本年度，教育ミニ集会でも取り上げさせていただきましたが，ぜひ子供たちに身につけていきたい習慣です。本の中にはさまざまな世界が広がっています。読んでいる間はその世界の中に入って，自分で想像しながら読みすすんでいくものです。日常とは違う世界をたくさん経験することで，想像力が養われます。また文章を読んで内容を理解する力がつくと，あらゆる教科学習の基礎となる国語力をつけることにもつながります。分析的な思考力が身につく，文章を書く能力の向上にもつながります。他にも集中力がつく，ストレスが軽減される，コミュニケーション能力の向上等，多岐の効果が期待できます。本を読むことで作者の考え方やいろいろな表現を知ることができ，自分の世界観を広げるきっかけにもなります。ご家庭でもぜひ，親子で本を読む機会を増やして行ってください。
- あじみ運動（挨拶，掃除，右側歩行）→本校の年間生活目標です。教職員から見た子供たちへの評価は，3項目とも昨年度より上昇してきています。少しずつ成果は上がってきていますが，まだまだ，満足できる状況ではありません。より成果が上がるよう，職員が同一歩調で，組織的に継続して指導を続けていきます。周りの人を気持ちよくさせる行いを一人一人ができるように，心を育てていきます。
- 発表→アンケート結果から，高学年になるにつれて，授業中，自分の考えや質問等を進んで発表できなくなっていることが分かります。しかし，今年度は，低学年で若干低下しましたが，高学年では逆に上昇する傾向が見られました。今後も，児童の表現力育成に力を入れ，自己肯定感・自己有用感を育む指導を行っていきます。御協力の程よろしく願いいたします。

○小学校高学年の時期における子どもの発達において、重視すべき課題

- ・抽象的な思考への適応や他者の視点に対する理解
- ・自己肯定感の育成
- ・自他の尊重の意識や他者への思いやりなどの涵養
- ・集団における役割の自覚や主体的な責任意識の育成
- ・体験活動の実施など実社会 への興味・関心を持つきっかけづくり

○生活習慣（家では「早寝・早起き・朝ごはん」等、規則正しく過ごしている。）

子供たちが健やかに成長していくためには、適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠が大切です。しかしながら、最近の子供たちを見ると、「よく体を動かし、よく食べ、よく眠る」という成長期の子供にとって当たり前で必要不可欠な基本的な生活習慣が大きく乱れています。こうした今日の子供の基本的な生活習慣の乱れが、学習意欲や体力、気力の低下の要因の一つとして指摘されています。

規則正しい学校生活を送るためには、心と体の健康が何よりも大切です。登校後、腹痛や頭痛、発熱等の様々な症状で保健室に来る子供がいます。また、長期の休み明けや月曜日はその症状がより一層顕著になります。また、学力の向上と朝食の摂取に深い因果関係も認められるようになってきています。今後も子供たちの基本的な生活習慣と健康管理の徹底を図っていくために、御協力の程よろしく願いいたします。

○外遊び→

活発に遊んだり運動したりするとおなか为空き、食が進みます。また、昼間の疲れで早く寝ることもできます。これを繰り返すことにより望ましい生活リズムが身に付いてきます。

外遊びは基本的な生活習慣、コミュニケーション能力、体や脳の発達、思考力・判断力の向上につながります。

参考文献

子どもの発達段階ごとの特徴と重視すべき課題 文部科学省
子どもの基本的な生活習慣の育成に向けた取組 文部科学省
生活リズムの確立と遊び・運動 文部科学省

保護者の皆様から本校の教育活動をより一層充実させていくための具体的な手立てを多数いただきまして誠にありがとうございました。学校評価検討委員会を経て、来年度に向けて検討・計画・実行いたします。学校評価は、本校の子供たちがより良い教育を享受できるよう、その教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すためのものです。皆様の御協力に感謝しつつ、来年度に向けて改善を図ってまいります。